

# 図書館を学校の公園にするには

今までの本校の図書館は、読書が好きな生徒だけが本を借りにくる場所でそれ以外の生徒たちはあまり近寄らず、ゆっくり時間を過ごす場所ではなかった。それを、読書が好きな生徒も、そうでない生徒も集まってくる憩いの場所に変えたいと考えた。

新しく変えたこと

## ① 新しい利用者と呼ぶために…

○図書館だよりのデザインを変更

以前のもの



初めて作成した図書館だより。  
簡素で、文章も堅い…。

最近のもの



写真やイラストをたくさん使い、文章も読みやすく少しくだけたものに。  
両面印刷で、裏には新刊案内を。これを片手に来館する生徒がかなり増えた。

○生徒たちがよく通る廊下の掲示板に新刊案内を掲示。

○4月に利用のためのオリエンテーション等がないので、新入生がなかなか足を運んでくれなかった。図書館だよりの4月号だけ、新入生用と2・3年生用に分けて作成し配布。内容は、館内の様子の写真や、司書の自己紹介、どのような本が新しく入ってきているか等。

## ② 新しく来てくれるようになった生徒のために



○ドアを締め切っていると中の様子が分からなくて入りづらいようなので、イラスト付きで案内を貼っています。

○生徒の顔と名前をなるべく覚えるようにして声をかけたり、行事になるべく参加してこちらの顔も覚えてもらえるように。

○購入する本があまり生徒の声が反映されていなかった。リクエストになるべく応えるようにしたり、生徒が好みそうな本を選ぶように。

○利用しやすい館内づくり

本の場所が分かりにくそうだったので、著者見出しを新しく作成。

背ラベルの表記を変更。

本棚の一番上と下の段はなるべく使わないように、本を移動。

## ③ 本選びが苦手な生徒のために…

○飽きがこないようにと、本を選ぶのが苦手な子たちのために月に1～3ほど新しい特集展示を用意。



ミステリー小説特集(左)と、  
恋愛小説特集(右)



○おすすめの本を集めたコーナーを設置。

以前は、“映画化された本”と“中高生におすすめの本”を置いていたが、“中学生におすすめの本”と“高校生におすすめの本”に分けた。



○最近発行した図書館だよりをカラーにしたものと、新刊を全て一覧にしたものを掲示。

#### ④ 本に興味がない生徒のために

○窓際にくつろげるスペースをつくるためイスを移動し、ソファのように設置した。

○雑誌が5誌しかなかったのが、徐々に増やしていき現在10誌の生徒用雑誌を所蔵している。

○以前は一言でも喋ると注意をしていたが、現在は時と雰囲気を見て言葉を交わしても注意せずにいる。本は借りなくても、話をしにくる生徒が増えた。

年度	中1	中2	中3	高1	高2	高3	職員	合計
2009	233	216	153	415	634	449	392	2492
2010	315	573	419	921	902	798	600	4528
2011	333	1168	965	1237	997	894	696	6290

